

報道関係者各位

～次世代へとつながる社会の形成を加速させる力がここに～
「グリーン×クリーン革命！いのちをつなぐ力を世界へ」
日本最大級の環境展示会
エコプロダクツ2010

期間中の取材のお願い

12月9日(木)～11日(土) 10:00～18:00(11日(土)は10:00～17:00)

東京ビッグサイト 東1～6ホール

(社)産業環境管理協会と日本経済新聞社は、12月9日[木]～11日[土]の3日間、東京国際展示場(東京ビッグサイト)において、「エコプロダクツ2010」を開催いたします。

開催12回目を迎える今年のテーマは「グリーン×クリーン革命！いのちをつなぐ力を世界へ」。

本展示会は、745社・団体、1,762小間が出展。東京ビッグサイトの東展示棟全ホールを使用し実施します。3日間で18万5千人の来場を見込んでいます。

この展示会では、家電や日用品をはじめ、自動車や住宅・建設、エネルギー、素材、食品、金融、環境先端技術やソリューションなどあらゆる分野のエコプロダクツ・サービス、環境技術が展示されます。ビジネスパーソンには最先端の環境ビジネスに関する情報を、一般生活者には今日から始められるエコライフのヒントを提供します。また出展企業のCSR活動や、環境系NPO・NGO、市民団体による活動、政府や自治体の環境政策なども紹介され、日本国内の環境活動の動きを知る絶好の機会となります。

「2020年までに温室効果ガスを25%削減し、持続可能な社会を実現するために何ができるのか、次の10年で何をしなければならないのかを考え、実践する場を提供していきます。

さらに、ご当地の魅力がギュッと詰まった人気の地域ブランド商品が大集合の「地域食とものづくり総合展 2010」を同時開催。試飲、試食、販売なども会場で行います。食の安全や、日本の農業やものづくりについて考えるきっかけにしていきたい展示会です。

つきましては、ぜひ、ご取材の程よろしくご依頼致します。取材の登録に関しては最終ページをご覧ください。

尚、本展示会の開催の背景や趣旨、見どころなどをご説明する記者説明会を12月9日(木)11:00より開催いたします(詳細は別紙参照)。こちらにも参加を検討いただけると幸いです。

■本資料に関するお問い合わせ先

「エコプロダクツ2010」広報事務局 共同PR株式会社内 担当:渡辺幸映^{さちえ}、安田、宇津木

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

TEL/03-3571-5238

FAX/03-3571-5380

e-mail: sachie.watanabe@kyodo-pr.co.jp



「エコプロダクツ 2010」の見どころ

■ エコの今がわかる！あらゆる分野のエコプロダクツ、サービスが一堂に集結 ■

◎745社・団体の出展者があらゆる分野のエコプロダクツを紹介！

幅広い分野のエコプロダクツやサービスが展示されます。ビジネスパーソン、行政、自治体、NPO・NGO、市民グループ、一般生活者、環境学習目的の小中高生など、様々な層から18万5千人(見込み)が来場し、出展者の環境への取り組みを体験します。

【出展分野】 エネルギー／家電・照明／事務機器、情報通信機器／印刷／文具・事務用品／
自動車、輸送用機器・部品／運輸・物流／建設／住宅、住宅設備／建築・建材／素材／容器・包装／
流通・小売／衣料、日用品／食品、飲料／自治体／環境ビジネス／金融／エコレジャー／安心・安全、
健康など

■ ビジネスと環境の「いま」を学ぶ ■

◎「低炭素社会」の実現に向けた取り組み～スマートハウス、超電導とは？～

低炭素社会の実現に向けて国際的に取り組みが広がっています。自ら電力をつくり効率よく生活に使用することで、100%の電力自給自足を目指すスマートハウスのあり方や、超電導ケーブルによる新エネルギーや燃料電池など最新の取り組みを紹介。また、大容量通信、次世代自動車などエネルギー有効利用の未来像も提案します。住友電気工業(小間3-034)、古河電工グループ(小間1-049)では超電導を理解するためのデモンストレーションを実施。超電導のすごさを実際の目で確認してください。

◎COP10 終了後だからこそ考える。「生物多様性」の大切さ。

テーマゾーン「生物多様性ゾーン」では、今年10月に名古屋で開催された「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」の開催を受け、生物多様性とは何か、生物多様性を保全するためにはどうすればよいか、などを分かりやすく解説(小間No.6-004～011、021～022)。環境省(生物多様性)では、COP10の結果報告もあわせて行います(小間6-022)。竹中工務店では環境の豊かさを知る指標生物である蝶を対象に、調査研究を実施。蝶が住みやすい環境条件についての知見を得て、自然豊かなまちづくりにつなげている「蝶の飛ぶまちプロジェクト」の概要・活動内容を紹介します(小間6-010)。

◎就職、転職もエコをキーワードに

就職氷河期の再来が話題になる中、「環境」をテーマに就職や転職を考えている人は注目！『「環境」就職・進路相談会』には、実際に環境の仕事に携わる社会人が、仕事内容や職場環境、キャリアなどみんなの疑問に率直に答えてくれる相談会を開催します。より広い視野で「環境」や「就職」をとらえて将来の進路を考えるチャンスです。(11日10:30～、東6ホール会議室)

◎大学・教育機関が提案する最新エコ活動

それぞれの学校が学術研究や教育プログラム、学内での環境活動など展示します。仙台大学(小間E-21)では「発電床」の上に人工芝などのスポーツ用設備を敷き、その上で来場者にサッカーを行ってもらい、発電させるといったコーナーを設けます。発電すると、仙台大学の基本理念である「スポーツ フォア オール」という言葉にLED電球が点灯するしくみになっています。このような、環境が生み出すエネルギーを体感できるブースが盛りだくさんです。



■ 2011 年は「国際森林年」。国際森林年に向けて今、私たちができること■

2011 年は国際森林年です。ひと足早く、国際森林年に向けた企業の活動を分かりやすく解説する「森林(もり)からはじまるエコライフ展 2010」。このコーナーでは、森づくりや木製品利用の推進、環境教育や都市山村交流など、元気な森を取り戻すための活動を紹介しします。フェアウッド・パートナーズ/乃村工藝社(小間 F-20)ではフェアウッドを使った木工体験、ペレットストーブを使用して作ったコーヒーの提供など、森林保護活動の一連の流れをご覧いただけます。

■エコライフを実際に体験し、エコを身に付ける！■

◎分野別に学べるエコツアーでエコ知識を獲得！

エコについて学べるエコツアー6 つを開設。今年は、生き物博士・ドクタートミーこと富田京一先生が解説しながら、生物多様性に関するブースを回る「生物多様性ツアー」と、会場内に出るゴミや主催者・出展者が破棄する展示資材をリサイクルする工場を見学する「リサイクル工場見学会」の 2 つを新設しました。

他にも会場内の見どころや回り方のヒントを紹介する「会場内エコツアー」、小中学生向けの「エコプロエコキッズ探検隊」、都市公園で自然と触れ合い生物多様性を実感する「自然観察会」、海外来場者向けにそれぞれの言語で会場内を解説する「英語・中国語・韓国語ツアー」の 4 つのツアーをご用意しております。ツアーに参加すればエコ知識向上につながります。

◎子どもたちが楽しくエコを学ぶ学校を開設！

様々な授業や実験・展示を通して、エコ技術のしくみや効果を体験する「ジュニアグリーンスクール」。参加企業が工夫をこらした環境教育プログラムで、「気づき」や「発見」の情報を発信します。

J-POWER(電源開発)(小間 JG-03)では、エコ×エネ体験ツアーと題し、森と水力発電所のつながりを学ぶ実験を行います。森の保水力を中心に、実験を通して人の暮らしを支える森と水力発電所を一緒に学びます。

また、進学教室サピックス小学部(小間 3-031)では今年の世界的なテーマである「生物多様性」について、映像とクイズによる、わかりやすい授業(1 回 10 分)を実施。また、カードゲームで生物多様性を学べる教材をご紹介しますなど、楽しく学べる企画を取り揃えています。

■ エコカーでエコドライブを体験！ ■

人気企画「エコカー乗車体験」を今年も実施！電気自動車や水素で走る燃料電池車など魅力的なエコカーに同乗して有明周辺を走行できます。日産自動車(小間 6-024)からは、欧州カー・オブ・ザ・イヤー2011 を受賞した電気自動車「日産リーフ」が登場します。また三菱自動車工業(小間 6-031)では量産型の新世代電気自動車「i-MiEV」(アイ・ミーブ)を展示。どちらも体験企画「エコカー乗車体験」で乗車することができますので、ぜひその乗り心地を体感してください。

■ エコ雑貨、エコフード、エコスイーツetc……エコにまつわる商品が盛りだくさん！ ■

エコロジカル、フェア、安全などのグリーンをテーマにした「グリーンストアーズ」では、ファッション、コスメ、ライフスタイルを提案する雑貨などのグッズを実際に試したり購入したりすることができます。

〈クリスマスプレゼントや年末ギフトに最適なグッズが勢ぞろい〉

ピープル・ツリー(小間 M-32)では世界 15 カ国 50 団体からのフェアトレードによる手作り商品など、人と環境にやさしい商品をご紹介します。毎年ご好評いただいている秋冬限定発売のフェアトレード・チョコレートも販売します。



CAST JAPAN(小間 M-34)ではエコおもちゃ「エクトロニック」を展示！自分で充電する、電池いらずのおもちゃです。「エクトロニック」で赤ちゃんの頃からエコ活動に貢献しましょう。

また、「森林(もり)からはじまるエコライフ展 2010」に出展しているエコロギフト(小間 F-26)では樹脂をギフトとして贈るサービスを実施しています。購入価格の一部が植樹等の費用にあてられ、受取人には植樹証明書が送られます。人にも、地球にもいいことを体験してください。

〈エコごはんを食べてエコグッズを手に入れる!〉

そして、毎年大人気のフードコート「エコごはん＆スイーツ」も設置！オーガニック食材や国産の旬な素材を使用したエコ弁当 10 種類以上をご用意。他にもお弁当箱やマイカップとして持ち帰られる容器を使用した限定メニューもあります。

■ 注目のエコプロダクツ ■

NTTドコモ(小間 3-039)は、国産ヒノキを特殊加工した木製ボディの新端末「TOUCH WOOD」を展示。四国の四万十で栽培されている檜の間伐材が使用されており、木材の三次元圧縮成形加工技術によって木材として高度な耐久性、耐水性、防虫性、防カビ性が実現されています。本展示会では、ソフトウェアが動作する端末が展示される予定です。

トンボ(小間 2-036)は、学生服業界初となるカーボンオフセット商品の詰襟学生服や、オーガニックコットンを使用した体操服を初公開する。また来場者向けに、5分で作れる制服の残布を活用した「マイ箸袋」づくりのワークショップを開催する。

ゲンゼグループ(小間 2-040)は、生産段階での環境負荷を画期的に低減、進化させた「100色パンツ」の環境技術を紹介します。成型編み立てで裁断屑を最小限に減少にしたほか、少量の水と薬品、しかも短時間での染色が可能な加工技術を開発。大幅な使用エネルギーのカットにより、CO2 排出量を41%削減しています。画期的な染色加工技術の開発により、従来ではマテリアル、エネルギーともに大きなロスを生んでいたために実現しにくかった、多色小ロットのニーズに応えられるようになっていきます。

■ 多彩なステージイベント ■

「環境コミュニケーションステージ」には今年も多彩なゲストが登場し、環境にまつわる楽しいトークショーやライブを行います。

- ・フリーアナウンサー 草野満代さん、東京農業大学教授 宮林茂幸さん、林野庁長官 皆川芳嗣さんほか
「2011年『国際森林年』トークショー 明日の森林を語る」(9日 12:00～)
- ・ワタミ代表取締役会長・CEO/郁文館夢学園理事長 渡邊美樹さん「地球における自分の役割」(9日 13:00～)
- ・タレント 渡辺満里奈さん「渡辺満里奈 Relaxing Style」(10日 13:00～)
- ・漫画家 赤星たみこさん「エコで節約！」(10日 16:00～)
- ・東京海洋大学客員准教授/お魚らいふ・コーディネーター/環境省「地球いきもの応援団」 さかなクン
「さかなクンの生物多様性トークショー」(11日 10:00～)
- ・自転車ツーキニスト 疋田 智さん「自転車観光の魅力-知らない街にでかけてみよう！」(11日 11:00～)
- ・RASICA 代表/秋田県地球温暖化防止活動推進センター事務局次長 菊地格夫さん、
エコトワザ代表取締役 大塚玲奈さん、ソニーCSR部 CSR マネージャー 石野正大さん、
環境省大臣官房会計課 課長補佐 福嶋慶三さん「エコ時代の働き方」(11日 12:00～) ほか

さらに、エコプロダクツや環境技術の使い方・応用、製品開発から社会貢献活動、エコな暮らし方のちょっとしたコツまで、幅広い知識を得るための15分、「エコプレゼンテーションステージ」「ネットワークステージ」を設け、コンパクトに



様々なエコスタイルを学んでいただけます。



開催概要

- 名称: エコプロダクツ2010[第12回]
- 会期: 2010年12月9日[木]~11日[土] 10:00~18:00 [11日(土)は10:00~17:00]
- 会場: 東京ビッグサイト(東展示棟) 東1~6ホール
- 入場料: 無料(入場登録制)
- 主催: (社)産業環境管理協会、日本経済新聞社
- 後援: 経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省、(社)日本経済団体連合会、(公社)経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、日本貿易振興機構(ジェトロ)、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県 [順不同]
- 協力: (社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会、グリーン購入ネットワーク、(財)日本環境協会、全国連合小学校長会、日本私立小学校連合会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国国立大学付属学校連盟、全国小中学校環境教育研究会、私立大学環境保全協議会 [順不同]
- メディア協力: 日経BP 環境経営フォーラム、日経エコロジー、ecomom、everblue、環境goo、GREENSTYLE、J-WAVE、教育新聞、日本教育新聞 [順不同]
- 来場対象: ・企業経営者、企業の購買部門、環境管理部門、製品・商品開発部門、経営戦略部門、社会貢献部門 など
・自治体・官公庁の地域振興部門、購買部門、環境部門 など
・各業界団体、地域産業・商工団体 など
・一般消費者(ファミリー層、主婦、学生、小・中・高生)
・環境NPO・NGO 団体、市民グループ、環境に関心のある方
- 来場者数: 185,000人(見込み、前回実績:182,510人)
- 展示規模: 745社・団体/1,762小間 (前回出展実績:721社・団体/1,735小間)
- 同時開催: 地域食とものづくり総合展2010
- 来場者からのお問い合わせ先: フリーダイヤル 0120-261-122 (9:00~18:00 土・日・祝日を除く) ※12月24日までのご案内で

す。

☞プレスご来場について

東5ホールの商談室(1)に、プレスルームを設けます。当日は、こちらのプレスルームにお越し下さい。
プレスバッジ・報道資料を配布いたします。

プレスルーム、プレス登録のご案内

開催期間中、プレスルーム(報道受付を併設)を設置いたします。

プレス証(取材・撮影用)は、報道受付にて配布いたします。

館内の撮影、取材の前にお立ち寄りいただきますようお願いいたします。

プレスルーム: 東京国際展示場「東京ビッグサイト」東5ホール商談室(1)

TEL: 03-5530-1613

FAX: 03-5530-1615

